



第2号

教育委員会

たより

文責
伊平屋村
教育委員会
屋比久健太郎



つながり ひろがり とともに学ぶ
伊平屋の島発ち教育

演題 「すべての子に学びを保障する授業づくり」

講師 一般社団法人麻布教育研究所
村瀬 後胤 氏

令和5年4月12日(水)に伊平屋村第一回三校合同研修会が行われました。午前中は教育長・村瀬公胤先生・久高利美子先生と指導主事にて伊平屋中学校・伊平屋小学校・野甫中学校の授業参観を行いました。午後からは、第一回三校合同研修会が離島振興総合センター(大ホール)にて行われました。講師の村瀬公胤先生からは演題「すべての子に学びを保障する授業づくり」の「協働」と「探究」を通して「すべての子に学びを保障する授業づくり」の話をしました。約80分の講話からは授業を始めとしてすべての教育活動に活用できる貴重な内容でした。まずは、学びを楽しむこと、子どもの学びを保障するのは当然であるが授業者である先生方もそのような見方で普段の授業作りをしてほしいと感じました。また、難しいこと、苦手なことから逃げない、協働と学び、子ども達が「考える」授業のイノベーション、こころ一つ、イノベーションという言葉をよく聞きます。村瀬先生もスクリーンに写真を投影して昔の学校と今の学校を比べて見せてくれました。子どもたちが「考える」授業、そのために、子ども達は、教わるから学びとるへ、先生は教えるから学びとらせるへ授業のイノベーションはそこに答えがあるように感じました。



講師【村瀬公胤 氏】

令和5年度 てるしの塾開講式

令和5年4月11日(火)、伊平屋村離島振興総合センター大ホールにて、生徒・保護者・教職員が参加のもと、「てるしの塾」開講式が開催された。「てるしの塾」の趣旨説明で、「将来の夢の実現や子供たちのを支援し、将来を担う人材を育成すること」や基本方針などが説明されました。

開講式第二部では、教育長より激励の言葉を塾生へかけていただきました。また、西江邦子村教育コーディネーターより、島発ち教育の重要性を村出身の高校生の追跡調査の結果をもとに講話が行われた。生徒代表あいさつでは、生徒を代表して宮城孝介さんより卒業後の将来を見通し今を頑張りたいと決意の言葉がありました。



教育長 与那覇了



教育コーディネーター
西江邦子



生徒代表：宮城孝介

伝統文化学習の日開講式

令和5年4月19日(水)、伊平屋村離島振興総合センター大ホールにて、伝統文化学習の日「開講式及び講師委嘱状交付が行われた。「伝統文化学習の日」は「地域の優れた伝統や文化に関心を持ち、理解を深めるとともに、それらを尊重する態度を育てることを目指し、島への誇りと愛着を醸成し、地域伝統文化の保存・継承・発展を担う人材を育成する。」を実



令和5年度 てるしの塾 説明会及び開講式 司会 轟手納

| | |
|-----------|-----------------|
| 趣旨説明 | 指導主事 屋比久健太郎 |
| 島発ちに向けて | 教育コーディネーター 西江邦子 |
| 開講式のことば | 教育長 伊礼直 |
| 激励のことば | 生徒代表 与那覇了 |
| 生徒代表あいさつ | 宮城孝介 |
| 保護者代表あいさつ | 保護者代表 末吉美 |
| 講師紹介 | 司会 小川宣 |
| 講師あいさつ | 講師 又吉真 |
| 閉式のことば | 教育長 伊礼直 |

